

1. 件名：「原子炉実験所KURの設置変更許可申請に係る新規制基準適合性審査（標準応答スペクトルの規制への取り入れに係る変更）に関する事業者ヒアリング(3)」

2. 日時：令和4年7月4日（月）16時00分～16時40分

3. 場所：原子力規制庁9階会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁 原子力規制部 地震・津波審査部門：

岩田安全管理調査官、三井上席安全審査官、佐藤主任安全審査官、
中村主任安全審査官、永井主任安全審査官、大井安全審査専門職、
松末技術参与、馬場係員

国立大学法人京都大学 複合原子力科学研究所： 副所長 他4名※

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料：

・ 京都大学複合原子力科学研究所 研究用原子炉（KUR）

標準応答スペクトルに基づく基準地震動 Ss による地盤の安定性等の評価

時間	自動文字起こし結果
0:00:00	えーと、
0:00:02	ちょっと資料共有させていただきます。
0:00:09	今回は前回の審査会合で、
0:00:13	標準応答スペクトルに基づく基準地震動 S_s 、我々 S_{10} と申しあげてもございますけども、その内容については概ね妥当という
0:00:25	ご判断をいただきましたので、そのあとの作業をについて今日、お話をしたいと思います。これについては冒頭一番最初の2月の案審査会合で、
0:00:36	一通りをお話した時の後半部分だというふうにご理解いただけたらと思います。
0:00:42	ということでタイトルは、標準応答スペクトルに基づく基準地震動 S_s による地盤の安定性等の評価ということで、中身的には、そこにあります二つのポツがございますけども、
0:00:54	地盤の安定性評価と、原子炉建屋入力地震動評価ということで、この2点について、建設線を使った結果をご説明申し上げたいと思います。めくっていただきますと、前半は少し
0:01:09	レビューなのでちょっと割愛をさせていただきます。ただ入力地震動のことがありますので、ので2ページ目、
0:01:17	これ何度もお示ししてはありますが、当方の敷地の1次元地盤構造モデルということで、左側にリストがございますけども、これの
0:01:28	上の方に入力地震動設定位置と、
0:01:31	ということで原子炉建屋の基礎、基礎版が設置されている地盤というのは-7メートル程度でございますので、その位置での
0:01:39	入力地震動の評価をしたということでございます。
0:01:43	あとは
0:01:44	同じでございます。
0:01:45	その次のページ3ページ目も、これも標準応答スペクトルに基づく模擬地震の作成ということで、 S_s 点を前回、概ね妥当と判断いただきましたけどもその辺の作り方の話でございまして、
0:01:58	4ページ目が、例のM7、
0:02:02	M6.9からM7にした時の揭示特性の違いを少し、お示しをした上で、
0:02:09	同じようにアラン水素を使って、僕自身を作ったというのが、5ページ6ページのところでございまして、水平動と鉛直度それぞれ書いてございます。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:02:20	あと判定基準のところも、そこに同じように加えてこの辺は概ね妥当とご判断いただきました。
0:02:28	それで7ページ目は、介護基盤、先ほどは地震基盤相当面ですので、
0:02:34	最終的には財務基盤面はその上3メートルの位置にございますので3メートルだけの同福間原水。
0:02:41	それを計算をした結果が、そこに水平と上下がそれぞれ書いてございます。
0:02:48	それと、S s線のを含めた、我々のところのS s1から10までの応答スペクトルをそこに重ね書きしたものでございまして、建設店はこの赤で太く赤で書いたものでございます。
0:03:00	ご覧のように後の地盤の安定性等々にも関係するんですけども、水平については、結成素案よりも概ね下回ってございます。
0:03:10	ただ鉛直方向、鉛直成分が、
0:03:14	これまでのS sに比べて若干高周波の部分ですけども、
0:03:18	0.0を6秒あたりから、交渉の部分が若干上回るということで、今回
0:03:26	衛星の追加に至った次第でございまして。これまではここまでは、それは次のページそのリストでございまして、
0:03:33	最後に説明を加えたものです。ここまでは、前回、審査会合で、
0:03:39	お示しをしてお判断いただいたところでございます。はい。
0:03:43	本来はここでもございまして、10ページ目から、まず、支持地盤の安定性評価ということで、
0:03:49	これ1、3ヶ月、3項目を評価してございます。まず、まず支持地盤の滑り安全率ですけども、
0:03:57	これは
0:03:58	そこにありますようにS sチェーンを用いた動的解析の結果に基づいて、基礎地盤の想定滑り線上のせん断抵抗力の和を、想定滑り線上のせん断力の和で除して求めた。
0:04:10	滑り安全率が評価基準値1.5を上回ることを確認するというので、今回の資料はほとんどその辺のデータを入れてございませんので、実際は以前の、これは申請の時でございますけども、
0:04:24	我々も27ケースの滑り面を発生して、その中で一番最初滑り安全率を示すものを、
0:04:31	今回も示してございます。27分の1ということでございます。
0:04:35	それが一つ目の滑り安全率の評価と、その閾値でございまして、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:04:41	次に支持地盤の支持力ということで地震の時の地盤の許容支持応力度がですね、上の位置でやりました動的解析でやられた。
0:04:52	最大の鉛直応力増を上回ることを確認するというので、これも結果だけしかございませんけども、
0:04:59	最初国交省の
0:05:03	告示に従った場合、方法で給与支持力度を設け、もう求めまして、それと、一番で計算された接地圧といいますか最大鉛直応力度を比較するというのでございます。
0:05:17	3番目は、同じように、地震、
0:05:20	地震の時は建屋の転倒、
0:05:23	この傾斜ということで、立山弾性体ということで、両端の経緯によって傾斜をする、そのへ傾斜角を求めて、それが、
0:05:33	抜き打ちである間に 32000 分の 1 以下であることを確認すると。
0:05:37	いう三つの評価の内容と、その評価基準値をもとに評価をした結果でございます。
0:05:45	その次の他はもう早速の結果だけで、その中、年はすべて割愛でございますけども、
0:05:52	申請の時にあったところと同じでございます。11 ページページに滑り安全率、午後 S S 店。
0:06:00	衛藤大南部、藤大南面と何、南北断面と東西断面、それぞれについて、これ茂木新屋ですので、A 層、
0:06:10	を反転させて、今、プラスプラス、プラスマイナスとかマイナスプラスマイナスマイナスと。
0:06:16	ということで、符号を書いた 4 ケースについてそれぞれ計算をしてございます。
0:06:22	それでそこにも早速答えがそこにありまして滑り面番号って⑤って書いてあるの先ほど言いました 27 億あるうちの 5 番目ということで、その図の中に少し赤で滑り面が書いてございますけども、
0:06:35	両サイド 15° という傾斜角を持った滑り面ですけども、これが、
0:06:40	これはたまたまあったと思うんですけども、すべてが 505 番でき最初、滑り安全が決まると。
0:06:47	ということでございます。
0:06:48	例えばそこにありますように 3.7、3.5 とかって書いてんのはいずれも 1.5 以上ということですので、十分安全性は確保されてると。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:06:59	ということです。それと括弧の中はそれが発生する時間ということで、それも書いてございます。
0:07:06	これはまず滑り安全ⅠⅠについての評価結果でございます。
0:07:10	続きまして12ページ、13ページ、すいません12ページは、
0:07:15	先ほどの地震時の最大鉛直応力度に対する評価結果でございまして、これ最後に、S s 10. の4ケース書いてございますけども、
0:07:26	地震時の最大延長5力度っていうのが出てまして、それがそこに書いてますように、
0:07:31	清527、536530人508と、東大については、そこにありますような数字ということで、最初に敷地は1500k Nパ平米ということで、十分、
0:07:45	安全であるということです。基準地震動S sが水平動の方がかなり小さいということもあって、少し揚力度が小さくなっているというふうに見えております。
0:07:56	これが12ページが、
0:07:58	N5緑土についての評価です。
0:08:01	次13ページ4ページ、4ページは、東西、南北東西のそれぞれの建屋の基礎の傾斜角ということで、これも同じように、ちょっと右の方に全体の基礎版、28名でございまして、
0:08:13	それとその両サイドのは相対的な変位、それを
0:08:19	底面幅で割ったものを経営企画部と称してございますけども、そこにありますように、まず、南北の方は、
0:08:27	4600とかこれ1010の桁以下をみんな切り捨ててでございますので、そういう丸めた値になってございますけども、
0:08:35	すべて1500、2000分の1は十分下回ってるということでございます。
0:08:40	次のページ14ページは、東西断面でございまして、これも同じような値でございまして、すべて、
0:08:48	そういうものは下回ってるというふうになってございます。
0:08:52	ここまでが一応、2番の安定性評価でございまして、
0:08:57	もう一つは我々もこれ堆積層序にあるということで、解放基盤からスカイも幾つもあってただいまの入力地震動の評価という、これは新規制の時にも要求された形で、
0:09:08	この地震津波の中で、瀕死審査をされてございます。
0:09:12	そのSS店。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:09:15	を対象とした場合の結果でございます。
0:09:17	そこで三つございますけども、先ほど冒頭で申し上げましたように、解放基盤表面-14-181メートルの花崗岩でございますけども、そこで基準地震動が設定をされてございます。
0:09:31	そこから上は一応1次元地盤構造であるんで、評価できるということは審査会合以前の、
0:09:38	高山東西南北で少し傾斜ございますけども、いろんな乾燥機、記録の評価であったりとかですね地震のシミュレーションであったりということで、
0:09:49	大きな大きなあれはないということもあって1次元で地盤構造モデルがつくれるという前提で、最終的にはマイナス181メートルから-7.3メートルまでの1次元の
0:10:01	大地震の復興をという解析を行ったということでございます。
0:10:06	地盤の堆積にはいろいろとございますけども、一番ポピュラーなのが
0:10:12	非線形性を考慮するやり方としてはそこにありますように等価線形解析がでございます。
0:10:18	ただご存知の等価線形解析はひずみがあまり大きくなると、瀬古さんが非常に大きくなるということで、最近はその時刻歴生検解析、ここで遊佐遊佐というようなプログラムですけども、
0:10:30	そういうものを使って、両方の計算をしてございます。水平動に関しましては、
0:10:35	ただ鉛直については、
0:10:37	利用しません非線形化がないということで、ここではもうそうですけども、以前と同様に線形地震応答解析を使ってございます。
0:10:48	最終的には後で結局をお示ししますけども、入力としては、ひずみレベルのあまり大きくないということとかですね結果が少し大きくなる方、保守性という観点から、
0:11:00	等価線形解析の結果を今、採用したところでございます。
0:11:05	次のページ16ページが、もうその結果でございますけども、
0:11:09	水平と上下に左側に時刻歴は計画だけ書いてございます。その辺の方は少し当然非線形性がございまして、若干高周波が減って加速度が減って速度が大きくなるというのはこれスペクトルを下のスペクトルを見ていただくと、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:11:26	入力の方がかなり高周波が落ちて長周期側が増えてるというのは見てとれるかと思います。ちょっとそこだけを出してごさいませんが速度は当然大きくなっています。
0:11:36	それが水平動ですね、鉛直動はこれ線線形解析ですので、全体的に
0:11:42	1次元のモデルの伝達関数の影響を受けて、
0:11:46	グローバルブロードバンドにも少し大きくなっているところですが、最大加速度も若干、入力に比べれば、400 g a l 程度でしたから、5割増しぐらいになってごさいます。
0:11:58	これをそれを右の方に、解放基盤から、
0:12:02	入力位置までの深さ方向の分布を書いた。
0:12:07	これ最大加速度分布でごさいますが水平と鉛直があります。
0:12:11	水平の方は入力が 600 G a l ぐらいで、上の方でちょっと、ちょっと減るということになってごさいます。鉛直の方は、
0:12:21	ご覧のように 400 が 595 ということで 2 割の 5 割ほど大きく東北支店というところに出ております。あと大事なのせん断ひずみ分布でごさいますが、
0:12:32	これいただけると途中のある部分で少し大きくなってますけど 0.2% 以下ということで、等価線形使える領域ではないかということで、今回最終的な等価線形解析を使ったということです。
0:12:44	それでその創価線形解析と時刻歴非線形とちょっと比較をしたものが、最後のページにごさいますが、
0:12:52	作文側道で見るために、違いはわかりませんが、時刻歴、すいません。加速度分布で見ると、
0:13:02	時刻歴選挙の方がかなり小さくなっているということで、今回は保守的に等価線形を使って、大体上でいくと 500、
0:13:13	何がしかの最大加速度で持っているものを入力地震動として使うと、先ほどの 8 基でごさいますが、これをもとに最終的な建物への影響を調べるといことになるかと思っています。
0:13:25	ざっともうここにある資料プラス、少し
0:13:30	もう以前の審査、規制対応のところを少しいろいろ中身を少しお話ししましたけど、
0:13:38	一応この資料については、説明は以上でごさいます。
0:13:42	よろしくお願いたします。はい、どうもありがとうございました。規制庁側から何か確認事項があれば、順次お願いたします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:13:59	どうぞ。
0:14:02	すみません原子力規制庁の三井と申します。ちょっと確認したいんですけども、
0:14:08	今回の安定性の評価ということで、10 ページに記載がある通り
0:14:14	滑りと支持力と傾斜について、
0:14:18	評価しましたって話なんですけど、
0:14:22	既許可の時には、解析条件として例えば地下水位を地表面に設定しますとか、
0:14:29	あとⅢの滑りとか支持力の時にはそのせん断力を
0:14:36	ワンシグマ低減して要するブロックばらつきを考慮した、評価してますよとか、
0:14:41	あとは何だっけ。
0:14:44	あとはあれか位相反転を考慮してるますよとかっていう話が、位相反転については輸送反転を考慮してるっていう説明は一応あったのでそれはわかるんですけどもさっき言った
0:14:56	地下水とかせん断強度のばらつきとかっていう解析条件ってというのは、同じと考えてよろしいですか。
0:15:04	はい。京大のカマエでございますけども、
0:15:08	えっとですねあの方のばらつきの話はその当時もですね、
0:15:13	当然
0:15:15	そういう計算する時のばらつきということが少し
0:15:20	議論な上がったところですけども、そこでとりあえず我々のデータ数がそんな十分上がったんですけども、あの中で、そういうばらつきのことも少し言及しながら、最終的にこういう評価を、の、
0:15:33	妥当性をご確認いただいたということと、
0:15:36	地下水についても、よりもう一つその液状化、こういう岩盤じゃないので、液状化するかしらないかという非常に不安定なところ、非常にこれが大事だということもあって、
0:15:47	液状化の恐れなし、しないする、そういうことについても申請の時には、そういう評価を、か非常に簡易な評価でしたけども、
0:15:57	そういう評価もした上で、ご承認いただいたという経緯がございます。この地震動のこの通り改正の時には、当然、地下水の位置も当然入りますのでそういうことも考慮しながら計算を、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:16:10	してるプラスその液状化の云々についてもその当時は審査をしていたと。
0:16:16	これ申請書にも記載をしてございますけども、
0:16:20	お答えはそれでよかったですか。
0:16:23	少なくとも新規制のときと同じことをやってることだけは間違いございません。
0:16:30	規制庁の三井です。解析条件について既許可のときと同じっていうのは理解したんですけども、
0:16:39	今の計算結果で出されている例えば滑り安全率っていうのは、
0:16:44	これはあれですかさっき言ったせん断力をワンシグマ低減した。
0:16:50	場合にはこれより下がるっていうことになるんですかね。
0:16:59	要するにそのせん断力のばらつきを考慮した結果ってのは別に出されてるんですか。あ、すみません、京大の釜谷でございますけども、そういうこと出してもございません。ですからワンシグマ有無をですね評価できるぐらいのデータがなかったということもちょっと当時の話としてありましてですね。
0:17:15	具体的に大橋君を出して、それを低減させてどうのこうのということ、具体的にやってございません。
0:17:22	ただ
0:17:24	我慢レンズが行くと、
0:17:26	これはもう想像ですからあんまり意味がないんですけども、マンルールの容量、安全性の数字からいってということもあったかもしれませんが、少なくともその当時は、
0:17:38	そういうばらつきの評価をした上で、それも考慮した上で、この滑り安全率を出したと。
0:17:46	いうことは、んなかったです。すみません。
0:17:54	これ事実関係だけ申し上げてるところでございます。ごめんなさい許可の時は、ばらつきを考慮した評価自体はやっていないというふうに理解したんですけどそれでよろしいですか。
0:18:06	はい。京大のカマエでございますけども、今、今のような三井さんがご指摘になったようなやり方、要するに、今せん断強度のばらつきですね、そういうものをワンシグマ考えて最終的にこの今の

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:18:18	滑り安全率というのは当然滑り線に沿った発生するせん断応力と、そのせん断抵抗力を、を割り出してそれを積分するわけですから、当然そこに調査の方にばらつきがあれば当然か考慮すれば、
0:18:32	あとプラスマイナス出てくれば、当然その安全と下がるということは当然想定はされますけども、
0:18:39	この通りに、
0:18:41	これ許されるかどうか別としてですね。
0:18:44	当時は一応そういうばらつきはベースの意味ではそういうことを議論した経緯がございますけどもこの計算の中に、それを具体的に数字として、
0:18:55	入れては、評価をしてございません。
0:18:59	状況としては理解はまだ解析条件は同じだけど、せん断強度のばらつきまで考慮した評価ってのは、既許可の時もやってないし、今回もやってないということで理解をしました。はい。以上です。
0:19:38	すいません規制庁佐藤ですけども、これ今三井からいろいろコメントありましたけども解析条件とかですね少し
0:19:46	前の企業間の時と同じですっていう旨を書いていた方がよろしいかなと思うんですけども。
0:19:54	いかがですか。
0:19:56	当然京大の考えでございます竹田と今のご質問に答えられないので円に、監査当初案、審査会合の資料としては私としては必要かなと思ってすべてそういうモデル化とか全部入れてたんですけどもは、
0:20:13	それがあまり必要ないということですのですべて取ったという経緯があったんですけど、そんなことも同じであるとか云々という言葉はどっかに何か入れるようにして、そうですねなんか入れていただいた方がよろしいかもしれませんですね。
0:20:26	はい。それと今ちょっと、非常に否定的な、
0:20:29	ことを言ってしまったんですが計算上はそうなんですけど、その当時はですねやっぱりここはすまへのゴソウ状態ですってですねその辺の小さい、要するに抵抗力ですねそのデータを見てですね、
0:20:41	その主粘土層ごとに済まそうごとにその辺の違いがどうなのかというような、そういう意味ではですねいろいろ見ていただいたんですけども、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:20:51	いかんせんワンシグマ出すような、統計的に解析できるようなデータは十分なかったということもあってですねその辺は、感覚的な判断としては一応そういうばらつきの有無も
0:21:05	審査会合では議論されたということだけ技術でございますので、申し添えておきます。以上です。
0:21:14	すいませんサトウですけども、あとはモデル化の方法とかでもですね何か
0:21:19	条件のところはその評価と同じですとか書いていただいた方がよろしいかもしれないですね。
0:21:26	あとさっき液状化の話もありましたけども最終補正にはちゃんとその液状化の検討もしたんですっていうのは書いているのでそれは別に
0:21:37	それはそれでよろしいかなと思いますけど。
0:21:40	はい。京大の釜井でございますその辺今、佐藤さんがおっしゃるご指摘いただいたところは少し前の方の文章をちょっと追求するなり何なりして少しその辺が、
0:21:50	結局あの時と同じであるということがわかるようには、表現したいと思えますありがとうございます。
0:22:04	あと、すいませんサトウですけども入力地震動のところですが、
0:22:09	16 ページは、前回の既許可の時は 16 ページのこんな感じではお出ししお出ししていただいていたんだと思うんですけども、
0:22:21	17 ページのこれ非線形の話と等価線形の、これは初出しみたいな感じですかねこのスタイルで、
0:22:29	前回のまとめ資料にはこんな感じでは出しておらず等価線形の結果だけをお見せいただいたような気がするんですが、
0:22:38	京大の釜谷でございます。それはまだ、まずその連携なんのそのひずみがですね結構もうご前回の時の水平は非常に大きくてですね。
0:22:48	そんなふうにかなり大きかったのでもそのひずみの時点でも、等価線形は適用できないという判断をしたもんですから、それだけをもって、等価線形だ、ああし、
0:23:03	非線形逐次線形解析だけを最終アウトプットとして示したと。ただ今回は、そういう少しい派だけだということもあってしかも皮膚、ひずみが小さいということもあってですね、
0:23:14	これはやはり、それを踏襲するんじゃなくてやはり安全側でいくと。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:23:19	解析上の問題もありますし、大きな方保守的な方法ということで、今回は等価線形を使うということを明言するためにこの
0:23:30	図を出したというふうに、
0:23:32	ご理解いただけたらと思います。
0:23:46	すいません駒井ですけど、もし今、
0:23:50	甲斐サブリーダーになってました。はい。はい。大丈夫です。はい聞こえます。以上です。はい。すいません。
0:24:00	すいません。佐藤ですけどもそうすつとこのS s中の今回のこれだけはちょっと前回と違っていて等価線形でやったという。
0:24:08	ところでよろしいですか。
0:24:17	体協のカマエでございます
0:24:20	その等価線形から非線形化等逐次線形解析かというのはちょっと議論した上で申請書の最終的には逐次線形ということで今のエッセンス中までは、
0:24:32	そういう形で申請書ですけども今回は、そういう意味では、等価線形始めて、
0:24:38	を使ったということ、
0:24:40	になるかと思えます。
0:24:52	あ、すいません佐藤ですけども私は別にどちらでもいいんですけども今回少しそういう比較検討を行ってみたいという趣旨で、
0:25:02	資料をお出しになられたというふうに理解してますけども、
0:25:05	特に衛藤区には異論はないです。
0:25:08	はい。京大のカマエですありがとうございます趣旨は、保守的にということと、前回の結果を見ていただくとせん断ひずみが1%近くとかですねちょっと
0:25:20	今回は0.何%ということで、少し速度が1と違うので、等価線形何%だったら絶対っていう話はないかもしれませんが、
0:25:30	その辺は値、要するにもう保守的、保守性もですね見ながら前回は決めたというふうに理解をしますのでそれをもう一度少し、再確認をしてそういうことであればそういう主張もできるかなと思ってます以上です。
0:25:46	はい。すいません伊ワタですけども

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:25:49	結局この許可の中では2種類見せていただくということですね我々としては見ましたということになるんですがあと、今後工認に行った時どうされるかっていうところが少し
0:26:00	課題になるかなと思ってまして、許可ではですねもしかしたらもう、この等価線形やってなかったということであれば、入力地震動の設定については時刻歴八景
0:26:10	事故、時刻歴非線形での
0:26:14	見てですね大きさ決めましたということになると、そっちにはねる心配はないですかねということだけちょっとだけ心配なんですけどそちらは、どうなんですかね。
0:26:25	カマエでございます。と水道が少し当然等価線形と、
0:26:32	逐次で少し違って当然等価選挙を使う方が当然
0:26:36	レベルが低いので、当然後段の方にとっては非常に楽になる方向ですけども、ただもう今回水平についてはですね、
0:26:45	全体的に他のS sのラベルは、
0:26:49	小さいので、高と等価線形を使った上でもですねかなり小さいので、これはもうちょっと少し試算をしてるんですけど、
0:26:57	建物の水平鉛直の同時入力に対してもですね、その水平が少し大きくなることはあんまり影響がないという結果で、ちょっと鉛直の方が大きくなるということで部分的な部材にはちょっと影響あるかなと思う。
0:27:12	影響あると言ってもこれだけNGなわけじゃなくてですね。
0:27:16	若干以前よりは応力の発生が大きくなる可能性がある、ありますけども、全体的な建物の健全性からいくと水平動が少し大きくなってます。
0:27:26	等価線形が大きいという結果が出てますけどそれを使うことによって若干、
0:27:30	応答も大きいですけども全体のあれから見ると、
0:27:34	他のS sから比べるとかなり小さいので、
0:27:36	あんまりその辺の大小関係は影響しないと。
0:27:39	いうふうには、我々としては事前にはそういうことも確認をしながらの、
0:27:45	こともやってますので、まず地震動としてはやっぱり保守的なものを、
0:27:50	使うということがおそらくこのままで、遊佐伊佐というか、祝辞試験機を使うといってもおそらく等価線形も使えるんじゃないかという。
0:28:00	ミズミノセンターひずみの量からいってですね。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:28:03	それが使えないという適用範囲外だとなかなかここで言ったら、申し上げにくいので、我々はそれを事前に
0:28:14	そういう説明しなくてもいいように等価線形を使ったというところございます。
0:28:18	後段規制の方を今後、選手権の伴当間最終的にどういう形でこれを進めていくかというのはまだご相談しなきゃいけないんですけども若干入力の
0:28:29	鉛直動が大きくなりますので、その施設への影響という観点は全くこれ何もしなくていいとは思ってないので、
0:28:39	安全性については何らの形の説明をしなきゃいけない。
0:28:43	これ基準自身が変わってるわけですから、
0:28:45	進めてるわけですから当然それは我々の役割だと、役目だと思っておりますので、
0:28:49	そういう説明を今後もしていきたいと思っておりますけども、ちょっとご紹介いただいたのかわかりませんが施設としては安全上は、
0:28:57	特にこの上下動の
0:29:00	ほうが大きくなることによる影響で、何らかの大きなことが起こるということは、
0:29:06	ないということは一応、
0:29:08	以前は確認をしております。
0:29:11	はいありがとうございます今回基準地震動の数字だけ見ると、SS店が一番鉛直動金ですね、どういう形でご説明をされるかということについては全体を見ながら水平動については他の地震動おっきいので、あまり影響ありませんよということで理解をいたしました。
0:29:28	同じような説明を多分試験の班の方とですね、しっかり議論していただければいいんじゃないかと思っております。先ほど申し上げた通り我々の立場としてはですね一応、入力地震動を見せてもらう。
0:29:39	たんですけれども基本はもう公認で決めればいい話なんですね、我々はこの評価をしていただきましたということで理解をしたと多分そんなような売りになるのかなと考えておりますのでその部分については、
0:29:51	今回のご説明についてわかりましたありがとうございます。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:30:09	すいません規制庁の岩田ですけどもう1点ですね16ページのところの入力地震動のところのですね、最大加速度分布とか図をつけていただいでるんですが、これ一番下がマイナス180になっていて、
0:30:22	今回、入力したところは181メーターなんですよね、解放基盤のところは。
0:30:28	ここの数字と数字というのは、
0:30:33	いわゆる基準地震動の半分の数字を入れてると、そういう見方でよろしいんでしょうか。
0:30:44	この、この
0:30:47	水平と鉛直の部分の右の上の図でございますね。
0:30:52	これはそうです。それは本来181なので、この図の書き方がやっぱりちょっとよくないのかもしれないと、前回、
0:31:00	ちょっとお待ちください。はい。
0:31:19	恩田。
0:31:20	千田泉谷から宗の真ん中で1名。
0:31:28	どこどこで、
0:31:53	うん。
0:31:55	すいません。
0:31:56	川合ですけど、今、この値、例えば入力のところ、もうこれ介護休業制度等版にしていますので今、でなくて2になっていますので、
0:32:06	これが今500、例えば水平でいくと500。
0:32:10	540
0:32:13	541と。
0:32:15	595というのが上の一番上を見ると、その値なのかそれに近い値だと思いい、少なくともいいではなくて、
0:32:24	任意で、
0:32:25	へ計算をしていますのでこれは当然建物は今度計算に、建物の応答計算するときにはもうその辺のことを考えながら当然入力をすると思うんですけどこれはあくまでも労働はとして計算をしています。
0:32:38	そういう質問でしょうか。はいちょっと図の図の見方というかですね16ページの右上の図を見ると、例えば水平用だとですね、
0:32:48	一番下の-100、180というところの数字が、
0:32:53	これだと400ぐらいなんですかね。
0:32:57	どの数字を入れてるのがちょっとよくわからなかったの、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:33:01	本来は 181 メーターなので 181 メーターだと、今おっしゃったように、
0:33:08	S s の半分の数字が、
0:33:10	入っているとそういう理解なのかなと思ったんですが、理解が間違ってますか。
0:33:20	ちょっと待ってくださいね。
0:33:50	そりゃそうやな。これ、すみません京大のカマエです。
0:33:55	これはですね当然計算上は当然解放基盤に波を入れて入れて、その計算するわけですこれはここの九つ標準は応答範囲ですので、
0:34:07	その結果を落とした話なので、実際は、民族だと、その海賊版 I S S っちゅうのは 580 ありますので、当然その半分を入れて、当然戻ってくる波がありますので、
0:34:18	それを結果としての再成長を出してますので、
0:34:21	ちょっと数字は、そのじゃん、基準地震動 S s そのものではございません。
0:34:28	わかりました。そうするとあれですね、少しちょっと
0:34:34	その説明があった上でなんですけど本当はだから比マイナス 181 からマイナス 7 メーターまであればいいっていうそういうことなんですかね。
0:34:42	宗そうですね。
0:34:44	それを途中途中当然その場所でも、認証された反射、その場所でも畑井ですから、それがここのポンプとして出てて、最終的に一番上にあるまでを党派として、がここに表示されてると。
0:35:00	それで、石岡下は、少なくともその
0:35:03	繰り返しますけど基準地震動そのままのもうおよそ 590 年等だとこれちょっと小さいですね。はい。それは 181180 というちょっと、1 メーターのあれがちょっと違いあるとしてもですね。
0:35:15	多分これはですね、A とした下。
0:35:18	の下、
0:35:20	下せん断ひずみのところはもう当然ゴソウ圧のことがあってそうすると中中央で多分打ち出してると思うので、その境界じゃないと思うので、
0:35:30	ちょっと図 1 が、その赤々の一番位置がちょっと値ずれてますけども、
0:35:35	これあの宗それぞれの中間位置での値と、
0:35:41	これはおそらく層境界だと思うんですけども、
0:35:45	ちょっと 180 と 180。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:35:48	1点の話んは届いて、その絶対値そのものは応答はです。応答加速度と 思っていたらいいですね。わかりました。そうすると、もう、こ の図で見るべきはじゃあ、そうすると、一番上の色、
0:36:02	1-7.37 メーターのところの数字というのが入力したものに対して、ど ういう影響があるんですかというのをざっくりと定めるとそういう趣旨 ですということですのでよろしいわけです。その通りです。あんまりサトウは その数字的にはあんまり意味がないと、そういう意味では、はい。
0:36:20	すいません一番上だけが入力ということでのラインの波ですけども、そ れがこれをやるということだけは正しいということであらう、すべて正し いんですけども、表現としてはそういうことです。はい、わかりまし た。後藤です。はい。要は応答値がそれぞれ出てるので必ずしもその
0:36:35	綺麗な数字がしっかり出てくるわけじゃないとそういうことですね。了 解しました。それともう1点なんですけど、15 ページのところにはです ね片括弧1で原子炉建屋基礎版位置ってのは-7.3 になっていて、
0:36:49	地盤モデルだと7メーターなんですけどこれは、
0:36:53	その関係をちょっと教えていただけますか。
0:37:53	そういうすいません京大のカマエですけども、ちょっと木場さんで申し 訳ない。モデルの方はですねこれ当然検層結果をモデル化してるので、 元の1メーター血中の検層結果ということで1メーターごとの
0:38:06	値が出てきて、そのR層の中でも平均化したっていうその層割りをし てるわけですけど、この7.3 というのは、ただ、当然GLからベースマ ットの方までの、これは、
0:38:17	当然図面にありますので、当然それは1メーター刻みではないので、実 際は7.3 ということだから、その点、ちょっと7.3 の関係はそういうこ とで、アニュアルリーとして、
0:38:29	我々としては7メーターのところまで上げたやつをその7.3 に植えた ということで、30センチ少し
0:38:38	すごく浅くして入れてると。
0:38:42	深くかな、深く深くして、少しは5分からいうとちょっと前へ、この辺 の話ですけど安全の評価かなという気はしますけども、この方7003日 はそういうことです。わかりました
0:38:55	そうすると、多分この塗料片括弧の1を見るとですね1次元地盤構造モ デルを用いて羽田って書いてあるんじゃないここはモデルの話なので7の方 が正しいような気がするんですけどね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:39:07	その入力地震動はそうですね。はい。すみません。私はおっしやる通りがわかったんですけど、じゃあここは7名にしといていただいた方が正しいかと思うんですね。了解。わかりました。はい。ありがとうございます。はい。
0:39:29	あ、すみません規制庁の岩田です大体うちの方からの質問は以上なので、そうするとあれ、あれですかね、少し資料中にはですね、
0:39:40	何ていうんすかね既許可のモデル条件一緒ですみたいな話を一言入れていただくぐらいですか。
0:39:49	はい。京大の釜谷ですけども、今までのご指摘を踏まえると、そこが、
0:39:54	そこを修正するという、
0:39:57	こと。
0:39:58	てよかったかなとあとは口頭ではそういう質問のときには答えるということですけど、この資料としては、
0:40:05	何かをここ、
0:40:12	すみません先ほど7メートル→7メートルに変えるということと、その
0:40:16	条件を少し局吸気許可等、
0:40:19	使った条件を簡単にさっと書くと。
0:40:22	いう2点ぐらいだったかなという気がしますけど、
0:40:26	我々もそのように考えてございます。そこだけ対応をお願いするとともにですね、本件審査会も7月の22日にやりたいと思っているんですが、
0:40:37	ご都合の方はどうでしょうか。
0:40:44	と、すみません時間。
0:40:46	的には何かありますでしょうか。できれば午前中10時半ぐらいからスタートと考えているんですけども、
0:40:53	5分で、
0:40:55	大丈夫で大丈夫です。はい。大丈夫です。
0:41:02	大丈夫なので、7月20日の午前中ということですね。はい。
0:41:09	午前中、了解しました。はい。
0:41:12	一番にしましょうか。
0:41:14	はい、じゃあ、トップバッターで一番でやっていただくということでもよろしいですか。
0:41:19	はい。前ですけども。わかりました。了解しました。そうすると説明時間は、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

0:41:26	15分ぐらいあれば大丈夫ですかね。はい。今と同じようなでしょうから多分、15分ぐらいあれば十分それに合わせては、お話するようにします。はい、じゃあ、一応その心づもりでですね今の2点だけ修正をしていただいて資料でき次第届けいただく届け、いつも。
0:41:44	メールですかね。
0:41:45	はい。メールかなんかでいただいているようなのでその対応をお願いできればと思いますがよろしいですか。
0:41:51	はい。京大の釜井でございます。了解いたしました
0:41:57	今週案、評価のこれまで月ですから、このまっすぐ直すのはそこだと思うのですが、
0:42:04	大体2週間前ぐらいですかね。
0:42:07	はい。どうぞ。もし、今週いただけるのであればですねそれが一番あたりありがたいかもしれないですね。今週中ということではよろしいでしょうか。
0:42:18	はい、じゃあ、それをお願いいたします。はい。でき次第なるべく早く送るようにしますけども。はい。よろしくをお願いいたします。
0:42:26	そうしましたら他に事務連絡とかなければですね以上にしたいと思いますがよろしいですか。
0:42:33	はい。はい。こちら結構です。どうもありがとうございました。藤本どうもありがとうございました。お疲れ様でした。失礼します。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。